

# 安心して安全に、みんなが住みたい大山町へ！

## 小地域懇談会は、人権尊重の町づくりのスタートライン

今年度も10月下旬から12月下旬までの間、小地域懇談会を開くことにしています。

お年寄りから子どもたち、障害のある人など、誰でも一人ひとりが大切にされ、自分たちの住む町や地域が、安心して安全に住める場所になればと考えています。

特に最近、インターネットや携帯電話によるいじめや、振り込み詐欺、戸籍謄本の不正取得など、新しい人権にかかわる事件が多発しています。

そのために、同和問題をはじめ、様々な人権問題や人権課題を考え、自分たちの住む地域や町づくりのために、気づき、考えるきっかけとする機会になればと思います。

◎こんな言葉を聞いたこと、言ったことはありませんか？

「女だてらに」

「女のくせに」

「子どものくせに」

「いい年をして出てこんでも」

「若い者が大きな顔をして」

「金もないくせに」

「なんだ〇〇学校の卒業か」

「障害があるのに無理をせんでも」

「外国から来て、働かなくても」

このように差別と偏見による言葉や言動を聞いたこと、聞いたことありませんか。

今、固定観念・先入観や思い込み、偏見などを打破して、人権を大切にしたい安心・安全な町や地域づくりが求められています。

◎人の人権を大切にし、尊重したいものです。

自分が、他人から差別的な言葉や偏見による言動を受けて、楽しく思う方はいないと思います。

このように人権を大切にしない、無視した言動は、心豊かに安心・安全に住む生活を脅かす恐れがあります。いま一度、人権について考え、お互いの人権を尊重し大切にすることが必要ではないでしょうか。

大山町では「人権施策総合計画」

に基づいて、人権・同和問題の解決・啓発に当たっています。この総合計画では、次のような人権問題を、特に重点的に取り組んでいます。

- ・ 同和問題
- ・ 高齢者の人権
- ・ 子どもの人権
- ・ 女性の人権
- ・ 障害者の人権
- ・ 在住外国人の人権
- ・ 病気に関わる人の人権
- ・ 個人情報・プライバシーの保護

◎市民的権利と義務、そしてユニバーサルデザインを実行したいもの！

誰にとっても安心・安全な町づくりが進み、一人ひとりの人権が尊重される町づくりが大切です。

安心・安全な生活を構築するためには、市民的権利と義務を確認することも必要です。

普遍的な視点からのアプローチとして、「個別の課題を対象として解決するという考えから、一

歩進めた「誰にとってもというユニバーサルデザインの考え」があります。

ユニバーサルデザインと云えば、どうしてもハード的な面が強調されがちですが、心を大切にしながら進めるソフト面も併せて考え、実行することも必要と考えられます。

小地域懇談会へ多くの皆様のご参加をお待ちしています。

みんなの人権セミナーのご案内！

テーマ 死なないで！殺さないで！

認知症介護の現場から

講師 吉野 立さん（認知症の人と家族の会 鳥取県支部 代表）

とき 10月8日（木）

19時30分より21時まで

生活想像館（赤坂708 中山温泉館となり）

TEL 0858-49-3310